

あさん 阿三島唄・踊り同好会

大島郡伊仙町西阿三 2366

発表者：西 久 幸

皆さんこんにちは。時間が限られておりますので早速発表させていただきます。

鹿児島より南へ 450 km、徳之島の南端に位置する伊仙町から来ましたあさん阿三島唄・踊り同好会の会長の西 久幸であります。



さて、私たちの暮らす伊仙町は、長寿世界一でギネスブックに認定された「泉重千代翁」「本郷かまと媪」お二人の生まれ育った町であり、また、2009年合計特殊出生率日本一に輝く健康・長寿と子宝のまち、人情豊かなもてなしの町、時代とともに人々の暮らしは変わっても、今も昔も変わらない人々の笑顔、色あせることのない個性的な伝統と文化の薫る町であります。私たちの暮らす阿三集落は、世帯数は 234 戸、人口 462 人、65 歳以上が 185 人、全体の 40% を高齢者が占めております。



私たち同好会の活動目的は、先人たちが素朴な生活の中から、生み出され、唄い継がれ、育んできた島唄や踊り、それぞれの人生観や道徳観、あるいは労働歌として唄い継がれてきた島唄や踊りを地域が誇る伝統文化として守ることです。それと同時に活性化させ、次の時代に伝承し、保存することを目的としています。

私たちの集落もご多分にもれず高齢化が進み、孤立・孤独・閉じこもり等の現象が見られますので、それらの解消の一役となり、また、高齢者の社会参加の活動が広がり、楽しみながらお互いの絆を深め、地域に貢献できればとの思いで頑張っているところです。

一方では、高齢者と若者との接点が少ないなどの問題が私たちの活動によって解消され、

つながりができればと思います。世代を結び、地域づくりの担い手としての役割を果たしながら、島唄や踊り、地域の活性化ができればと大きな望みをもって取り組んでいるところです。

活動の内容としては、集落で行う豊年祭、敬老会、夏祭り、十五夜祭りには積極的に参加し、町内外で開催されるあらゆる文化活動、老人ホームや各種施設への慰問、イベント等へ参加し、島唄と踊りの良さを広げ、また高齢者のパワーと団結力を推進しています。

特に力を入れているのが、小学生への島唄や踊りの伝承です。小さい時に耳に聞いた音楽や体で覚えたリズムは大人になっても残っているので、小学校に出向いて子どもたちに三味線や島唄を指



導し、島に伝わる伝統芸能や文化に興味をもてるようにしています。現在は、毎週月曜日の放課後に鹿浦小学校にて三味線教室を実施しており、弾けるようになった子どもたちも多数おります。

活動の成果としては、集落や町内外で開催される行事のある度に、島唄や踊りの良さを披露してきたので、他の老人クラブでも島唄や踊りに対する関心が高まってきています。ま



た、会員同士の絆も深まり、地域や高齢者の活動の活性化にもつながってきています。老人ホームや施設の慰問では、昔から馴染みのある島唄や踊りを披露すると、口ずさんだり不自由な体で手拍子をしたり、車椅子から身を乗り出して踊っていたりする姿を目にする

と、つくづく良かったなあとこちらも満足しております。

また、子どもたちも一生懸命学んだ成果を学習発表会などで保護者や地域の方々に披露したり、運動会では私たちが唄う島唄で校庭いっぱい輪になって島の踊りを楽しんでおります。校区や町内外の地域へ島唄や踊りを広げることで、地域に活気がもどり、世代を超えた人と人とのつながりが生まれてきています。

❀ 活動事例（阿三島唄・踊り同好会）❀

終わりに、私たちはこれまでの地道な取り組みや活動の成果を確認しながら、先人たちの培ってきた芸能や文化を守り育てていきます。また、活動がマンネリ化しないように、他の地域とも情報交換や交流を深め、仲間づくりをしていきます。

そして、今回のテーマである「高齢者を中心とした地域貢献活動」の受賞に恥じぬよう、これからの高齢者の生きがいとなれるよう頑張る所存でございます。

最後に、このようなすばらしい場所で発表できる機会がもてたことに感謝し、終わりいたします。

本日は、ご静聴ありがとうございました。

